



全労生・事務局長  
(基幹労連・特別役員)

西澤 昇治郎

全国労働組合生産性

会議(全労生)は、55周年を迎えた昨年、「全国労組生産性中央研究集会」を開催し、これまでの活動の検証とともに課題認識を共有した上で集会アピールを採択、組織内外に広く提起してきた。したがって本年は例年行ってきた「全国労組生産性

中央討論集会」の形式に戻し、参加者主体による分科会をメインに据え、産業労使が抱える諸課題について果敢に討議を重ねていく予定である。

全労生では本集会の開催の狙いを次のように位置づけている。一つ目は、全労生活動の

### 2015年度 全国労組生産性中央討論集会のご案内

スするのではなく、同時に中・長期的な視点から労使関係課題や労働運動の重要性を捉える「目」を養うことである。この三つの基底に流れるのは言うまでもなく、真の生産性運動の理解、促進であり生産性運動の裾野の広がりにある。本集会の

原点である、働く人と職場、労使関係の変化に焦点を当て、第1分科会は「多様な職場構成員の経営参加とコンセンサスの形成」、第2分科会は「多様な働き方・選り肢の拡大と活力ある職場づくり」、第3分科会は「シニア層の能力発揮、処遇の

が大切なことに気付いて頂きたいと切に願っている。  
最後に、本集会是参加者同士のネットワーキング形成の場であり人材育成の場でもある。こうした機会を通じて異業種の組合役員と触れあい、討議を重ねていく研鑽と経験が、次世代を担う組合リーダーの育成にとつて有意義であることを確信している。

メインである各専門部会、特別委員会の研究成果の発表、周知など広報、理解活動としての場である。二つ目は、労働組合が現在直面する課題を見据えた上で解決に向けた方向性やプロセスを提起していくこと。三つ目は直近

の課題だけをフォーカスするのではなく、運動の

具体的には、運動の

三原則」の理解と促進

あり方と労組の役割とそれぞれテーマを設定した。いずれの分科会でも「公正な職場の働き方とは何か」を追求するという共通の狙いがある。その過程においては、集団的労使関係の機能、役割が不可欠なことや「生産性

各産別、単組の役員をはじめ皆様の奮ってのご参加を何卒お願い申し上げます。

日程 2015年10月29日(木) 10時30分

19時

場所 II アイビーホール青学会館